

富山小学校だより



No. 5



現在、富山小の玄関には左のような掲示がしてあります。今回の掲示では、1年生2年生が作成した「こいのぼり」の作品が中心となっています。このかわいらしい「こいのぼり」のおかげで、玄関が大変明るい雰囲気になっています。

私は、毎朝、玄関でこの掲示を見て、明るい気持ちになっています。

田植え

5月19日(木)に■■■さん所有の田んぼで、田植えをさせていただきました。■■■さん、保護者の皆さん、ご家族の皆さんのご指導をいただき、子ども達は田植えという貴重な体験をさせていただきました。毎年この体験学習をさせていただけることに対し、感謝の気持ちでいっぱいです。

関係の皆様方には、当日のご指導だけでなく、子ども達が田植えをする直前までのたくさんの諸準備をしていただき、誠にありがとうございました。



第1回校内マラソン大会

5月25日(水)に第1回校内マラソン大会を実施しました。

高学年は3kmコース、中学年は2kmコース、低学年は1kmコースに挑戦しました。子ども達は張り切ってスタートをし、一生懸命に走りました。走っている時の子ども達の真剣な表情、すばらしいと思いました。子ども達は力を出し切ったのか、走り終わると真っ赤な顔をして座り込んでいました。しかし、さすがに子どもです。



しばらく休憩すると、子ども達の元気が回復してきました。

当日は、■■■駐在所の■■■さんと■■■駐在所の■■■さんが、ご多忙のところ、来校いただき、道路での子ども達の安全のために、交通整理を



してくださいました。また、子ども達への声援もいただき、ありがたく思いました。道路を使用してのマラソン大会ができたのは、お二人のお陰だと感謝しております。

こだまでしょうか……

右の詩は、テレビでACジャパンのCMとして流れています。これは、童謡詩人の金子みすゞの詩「こだまでしょうか」です。

私は、テレビでこの詩を聞いた時に、良い詩だなと思いました。子ども達に、この詩について語りたいと考え、6月1日の全校朝会では、この詩についての話をしました。

こだまでしょうか 金子みすゞ
「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていうと
「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていうと
「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていうと
そうして、あとで
さみしくなって、
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていうと
こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。

この詩では、「人に優しい言葉をかけると、優しい言葉が返ってきます。反対に、嫌な言葉を投げかけると、嫌な言葉が返ってきます。」と言っていると思います。そして、詩の最後の部分は、「この詩は『こだま』の話ですか？いいえ、人は誰でもそうしますよ。」という意味だと思います。本当に味わい深い詩です。

私が読んでいた雑誌(「月刊プリンス」2011年6月号 増刊版)の中に、この詩について次のような内容がありました。私は子ども達へ友達関係についての話をしましたが、大人と子どもとの関係でも参考になるなと思いました。

(略) 私たちが子どもの頃、大人の人みんなこだましてくれました。道端で転んで「痛い」というと、「痛いね」と言い返してくれました。走っていて「きつい」というと「きついね」とこだましてくれました。その言葉で痛さが取れたり、きつさがなくなっていったりしたことを思い出します。(略)



そういえば、私も子どもの頃にこんなことがあったなと、なつかしい気持ちになりました。

PTA草刈り作業

五月二十二日(日)には、保護者の皆様をはじめ、ご家族の皆様、地域の皆様に多数参加してもらい、学校の周りを大変綺麗にしてくださいました。誠にありがとうございました。

この綺麗な環境で学校生活を送ることができ、子ども達と一緒に感謝したいです。誠にありがとうございました。

